

「北リアスの65人村」

全部問い直し nariwaiも住まいも街もライフスタイルも

何がきっかけか...それは問わない。

あの場所では今、人の可能性を信じる優しい気持ちと、冷静な観察力、地域の個性をイカス次世代の提案が、戦争以来はじめてといえるほど、ひどく求められている。

複雑で美しい地形に良港を築き、豊かな親潮の恩恵と海運を活かして、あらがう自然と闘い逞しく生きてきた北リアス地方。けれど今は、東北道沿いの盛岡が交通の要所となって以来、地元出身者も「日本のチベット」と呼ぶ。

数千年のタイムスパンに一度のことが起こった。自然が人の築きあげたものを一瞬にしてさらっていった。

津波という膨大なエネルギーに対して、自然物と人工物のおりなす影響作用、その因果関係を把握することがまず第一。

次に、敷地の発見。どこかに敷地とそれをイカス形式があると信じ、思い込むことから始まる。

そして、未来に向けて構想。

これから先、君たちの世代が50年そしてその子供達がまた80年、そして続く...

2011311以降に若い建築人が構想する、集まって楽しく安心して暮らせる街。

土地の特性を活かし／異化する、新しい建築と集合の形式を探して。

これまでの集合の形式をエコロジーと自然災害、これからのライフスタイルの器という観点からもう一度捉え直し、新しい集住のカタチをイメージしてみたい。

集まって住む - 現代の村、face to face daily -

古代ギリシャの都市国家policeでは、200人から300人の住民全員が円形劇場や競技場に集まってスポーツ観戦したり会議をする face to faceのコミュニケーションが成り立つ人口規模ゆえ民主主義が生まれたという説がある。

「face to faceのコミュニケーション」が可能であることと、「匿名, anonymousのコミュニケーション」しかできないコミュニティ＝人の集まりとの『違い』を意識して欲しい。

単体の空間やその空間同士の組み立て方、そしてライフスタイルの違いが現れるのか？

本課題の「65人」は、ほぼ建築デザイン学科1学年分の人数に相当する。

日々一緒に行動している人数であり全体スケールが把握しやすいと思う。

住人の設定は自由。

住人の生業は、何かしら地元地域にかかわりのあるものであること。

参考1：

失われた街展 シンポジウム movie

311 ゼロ地点から考える 原 広司

<http://www.toto.co.jp/gallerma/ex111102/sympsm.htm>

参考2： データ添付

G4 岩手県北リアス、ボランティア視察レポート式

・広域地図・小本町メモ・岩手県街づくり指針（←BとCに該当）

・G4考察レポート・毎日新聞田老町記事

*G4：建築家：井坂幸恵、木島千嘉、宮晶子、長尾亜子による活動グループ

対象敷地

3 1 1 で津波被害を受けた東北地方。

その中でも岩手県北部にひろがる北リアス線沿いの下記 3 つの町から選んでください。

- ・ 田老町 (taro-cho)
- ・ 小本町 (omoto-cho)
- ・ 島越 (shimanokoshi)

作業+アウトプット - 3つのフェイズ

今回の対象敷地は遠方のため、実際のフィールドワークは行えない。

一般的な報道は型通りのため、建築土木の専門分野の情報を集める必要があるかもしれない。

そのため手持ちのツールを駆使して情報を集め、状況判断し提案のための状況を仮想構築することが求められる。

1. 何が起こったのか?

津波という膨大なエネルギーに対して、自然物と人工物のおりなす影響作用、その因果関係を把握することがまず第一。自然物(地形、津波の方向、天然港の方向形状、遡上高さ等)と人工物(港、防潮堤、避難路、産業施設、コア施設、住宅等)の関係、被害の因果関係をできるだけイメージし把握する。

2. 仮想フィールドワークと対象敷地

次に、敷地の発見。どこかに敷地と適した集合形式を探す。

対象敷地を選んだその根拠と可能性を客観的にまとめる。

地図やイラスト、ダイアグラムを用いて視覚的に分析やテーマをまとめる。

《中間発表》

この1, 2に関して、調査項目と考察を紙芝居のようにして一人4分程度で発表。

パワーポイントでもA3のリアルな紙芝居としても自由。

3. デザイン・デヴェロップメント (D.D.)

フィールドワークからピックアップした敷地を対象に、「北リアス65人村」を具体的にデザインする。

対象敷地は、全員がそれぞれ異なるよりもある程度グルーピングして数箇所に集約した方が、相乗効果が生まれD.D.が展開しやすい。

《最終発表》

この3に関して、デザイン・プロジェクトとして一人5分程度で発表。

パワーポイント併用可。ただし、実物模型、印刷した図面パネル、イメージ写真も使って発表のこと。

○最終提出物

【A1 × 4枚, 着彩】

- ・ ヴィレージのテーマとネーム
- ・ コンセプト：テキスト+ダイアグラム
- ・ 配置図：1 / 100, 周辺道路, 方位, 植栽等のランドスケープ・デザインを表現する
- ・ 各階平面図：1 / 100, 主な室名, 家具を表現する
- ・ 立面図, 2面以上：1 / 100, 陰影を表現する
- ・ 断面図, 2面以上：1 / 100, 主な室名, 家具を表現する
- ・ パースまたは模型写真 × 5枚以上：俯瞰, 外観, 特徴的な場所など

【模型 1 / 100】

- ・ 白模型ではなくデザイン・コンセプトを分かりやすく表現したもの
- ・ 周辺道路, 方位, 植栽等のランドスケープ・デザインを表現する

●スケジュール

- ・ 12月 1日 : グループ分け, 課題補足
- ・ 12月 22日 : 中間発表 1人4分発表程度+質疑
- ・ 1月 19日 : 最終発表 1人5分発表程度+質疑